

岡野弘彦先生が文化功労者に選ばれました

2013年度の文化勲章受章者、文化功労者が10月25日(金)に発表され、大学・高等学校・中学校・幼稚園の共通「学園校歌」の作詞者でもある歌人で國學院大学名誉教授岡本弘彦先生(89)が文化功労者に選ばれました。



先生は1924年、三重県生まれ。國學院大学国文学部卒業後、長年にわたって歌人として第一線で活躍され、戦後短歌史に大きな足跡を残されています。文化功労者の顕彰式は11月5日(火)、東京・虎ノ門のホテルオークラ東京で行われました。心からお祝詞申し上げます。

音楽棟前で学生たちを見守る「彫刻作品」

短期大学部保育科 藤田雅也先生が昨年制作発表された彫刻作品「時の記憶-12」が今年4月に音楽棟前に設置され、「器楽」のレッスンで音楽棟を訪れる保育科・教育保育学科の学生を、やさしく見守っています。

彫刻家としても活躍されている先生の作品は、犬山キャンパスのほか、小牧市民四季の森、安城産業文化公園デンパーク、名古屋市の金山総合駅南口ロータリーなどさまざまな公共施設にも設置されています。



「時の記憶-12」犬山キャンパス音楽棟前 【大地から-09】(部分) 安城産業文化公園デンパーク

平成26(2014)年度入試日程 ※選考方法については、「平成26(2014)年度入学試験要項」にてご確認ください。

入試区分		学部・学科		出願期間(消印有効)		試験日	合格発表日
AO	Ⅳ期	エントリー	経済学部・経営学部・法学部 人間生活科学部 教育保育学科・管理栄養学科 短期大学部 保育科	平成25年12月11日(水)~平成26年1月4日(土)		1月11日(土)	—
		正式出願(専願)		平成26年1月15日(水)~1月20日(月)		—	1月31日(金)
	Ⅴ期	エントリー		平成26年2月10日(月)~2月21日(金)		3月1日(土)	—
		正式出願(専願)		平成26年3月4日(火)~3月6日(木)		—	3月13日(木)

公募制推薦	Ⅱ期	入試区分	経済学部	経営学部	法学部	人間生活科学部 教育保育学科	管理栄養学科	短期大学部 保育科	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
		A方式(基礎力テスト型)	○	○	○	—	—	—			
		B方式(小論文型)	○	○	○	—	—	—			
		C方式(基礎力テスト+面接型)	○	○	○	○	○	○			
		D方式(小論文+面接型)	○	○	○	—	—	—			
		E方式(自己PR型)	○	○	○	○	—	○			

入試区分	学部・学科	出願期間(消印有効)	試験日	審査結果発表日	合格発表日
プラチナ奨学生選抜*	経済学部・経営学部・法学部 人間生活科学部 教育保育学科・管理栄養学科・短期大学部 保育科	平成25年11月19日(火)~12月9日(月)	12月15日(日)	12月20日(金)	1月31日(金)

学術I期*	A日程	出願期間(消印有効)	試験日		合格発表日		試験会場
			平成26年1月6日(月)~1月20日(月)	1月25日(土)	1月31日(金)	犬山、名駅	
学術II期*	B日程	平成26年1月6日(月)~1月28日(火)	1月26日(日)	2月8日(土)	2月12日(水)	名駅	
			2月5日(水)	2月8日(土)	2月12日(水)	犬山、名駅	
			2月22日(土)	2月28日(金)	2月28日(金)	犬山、名駅、津、浜松、福井、松本	
センター試験利用*	C日程	平成26年2月4日(火)~2月17日(月)	2月22日(土)	2月28日(金)	2月28日(金)	犬山、名駅、津、浜松、福井、松本	
			3月10日(月)	3月13日(木)	3月13日(木)	犬山、名駅	
			3月10日(月)	3月13日(木)	3月13日(木)	犬山、名駅	

*試験の得点者は、入学金および毎年の学納金(授業料・施設整備費・維持費・教育充実費)を免除。センター試験利用については、過年度成績利用は除きます。

大学院	専攻	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	試験会場
法学	企業法学	博士後期	—	平成26年1月6日(月)~1月14日(火)	2月8日(土)	2月12日(水)	名駅
	法学	修士	Ⅱ期				
会計学	会計学	博士後期	—	平成26年1月14日(火)~1月22日(水)	2月9日(日)	2月19日(水)	犬山
		博士前期	Ⅱ期				
人間生活科学	幼児保育学・栄養管理学	修士	Ⅱ期	平成26年2月10日(月)~2月19日(水)	2月15日(土)	3月5日(水)	
		—	Ⅲ期		3月1日(土)		

*上記各専攻・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。

授業料減免制度を充実

2014年(平成26年)度入試に「プラチナ奨学生選抜試験」を新たに導入しました。合格の権利とプラチナ特典を年内に確保できます。

【プラチナ特典】入学金+卒業までの学納金*約420万円を免除*を特典とし、右記の3種類の入試において高得点を取めた方が対象となります。学ぶ意欲のある優秀な学生を募集しています。

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお祝いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、100年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただけます場合は、次の連絡先までご請求いただけますようよろしくお願いいたします。なお、お手続きにつき不明の点などございましたら、同じく次の連絡先までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

なお、本法人は、これまでの特定公益増進法人の認定に加え、新たに個人からのご寄附に対して所得税の税額控除の対象となる証明を受けました。これにより、学校法人に対する寄附金につき、これまでより多くの所得税の還付を受けることも可能となりますことを申し上げます。

寄附金に関する照会・連絡先

学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)
TEL 052-853-0047(代表)

*学納金とは、授業料・施設整備費・維持費・教育充実費の総称です。
☆管理栄養学科 約436万円、短期大学部 約226万円が免除されます。また2年次以降の学納金免除条件は、前年度における一定基準の単位取得を条件とします。

プラチナ奨学生選抜試験 **学術I期** **センター試験利用入試**
選考方法については、「2014年度入学試験要項」または、ホームページにてご確認ください。

MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください
「名経大通信」Vol.46について、ご意見や感想などございましたら、企画広報室(右記連絡先)までお聞かせください。

MEIKEI

名経大通信 Vol.46
2013.11.15
名古屋経済大学
名古屋経済大学短期大学部



教育実習

中学校教諭 [名古屋経済大学高蔵中学校] 学習プランを立て、実践で力をつける

中学時代の先生への憧れから教師を目指そうと思うようになり、今年、母校である名古屋経済大学高蔵中学で教育実習を体験しました。担当クラスは1年菊組。生徒たちのキラキラしたまなざし、学ぼうとする意欲に懸命に応えるため授業の準備は大変でしたが、とても充実した時間を過ごすことができました。

1週目から授業を受け持つ機会を得て最初は不安もありましたが、高校時代の恩師だった教科担当の先生に精神的に支えられ、多くの経験をjするうちに自信も後からついてくるようになりました。今思い返すと「信頼されていたんだなぁ」と、感謝の気持ちでいっぱいです。自分なりの授業プランにそって「教科書を読ませる、内容・ポイントを説明する、質問をして答えさせる、プリントに答えを書く」という反復で覚える(記憶する)ことを実践。「ハイ!」と元気な生徒の声に励まされ、教師という同じ目標を持つ同級生との交流も楽しく、控え室はまるで毎日が同窓会のような感じでした。

今後は人間としての引き出しを増やすため、社会人として多くの人と関わりを持つ仕事を経験してから、教壇に立ちたいと考えています。介護や福祉にも関心があるので、ヘルパーの資格も取得しました。さまざまな先生と交流し、指導もしていただき、大変感謝しています。いつか一人前の教師になって返しができたらと思います。

法学部 4年 森田翔弥さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



元気に手を挙げる生徒たち



ポイントを解説し質問へ



板書しながら生徒の意識を集中させる

小学校教諭 [滋賀県高島市立今津北小学校] 「わかりやすい授業」のための努力が実る

今まで幼稚園・保育園・養護施設などで2週間という短期間の実習をしてきましたが、今回の小学校教育実習も、とても充実した貴重な時間になりました。4週間と聞くと長いようですが、児童たちの力になれる、わかりやすい授業をするために教材研究をしていると、あっという間に日付が変わっているという毎日でした。

大学で事前に十分な指導を受けたことが生かされ、私の授業を受けた児童たちから「先生の授業わかりやすかったよ!」「明日も授業して!」と言ってもらえて、嬉しかったです。「頑張ってたよ」と満足感を味わえ、自分自身の成長につながりました。

今回の実習を通して、さらに教員になりたいと強く思うようになりました。人間生活科学部 教育保育学科 4年 古谷弥生さん 滋賀県立高島高等学校出身



一人ひとりのノートを確認



落ち着いて授業を進める

栄養教諭 [犬山市立楽田小学校] 一生忘れることのない貴重な経験

実習が始まる前は、「1週間という短い期間でどれだけのことを学べるのか」「児童と仲良くなれるのか」と、不安でいっぱいでした。しかし、実際に教育実習が始まると、そんな不安を感じる暇もないほど充実した毎日でした。担当学年である2年生の児童たちはとても元気があり、積極性のある子ばかりでしたので、すぐに仲良くなることができました。児童と関わって感じたのは、「何に対しても興味を持って取り組んでいる」ということです。興味を持つことはそれだけ集中できるということなので、授業を行う上でも興味を持ちやすい題材を第一に考えました。

研究授業では、野菜の好き嫌いについて授業をしました。授業を行う前は、「伝えたいことが話せるか」「児童の期待に応えられるか」と心配でした

が、児童たちは楽しそうに授業を受けてくれて、積極的に考え、意見を出してくれました。授業が終わった後、「今日の給食を残さず食べるから見てね」と言ってくれる児童もおり、とても嬉しかったです。

学生という立場では見ることのできない先生の姿を知ることができ、少しでもそれを体験できた今回の実習は、一生忘れることのない貴重な経験でした。

人間生活科学部 管理栄養学科 4年 松苗大さん 沖縄県立那覇高等学校出身



高等学校教諭 [岐阜県立本巣松陽高等学校] 自分のリズムで行うことができた研究授業

私は6月の中旬から2週間、岐阜県の母校で教育実習を行いました。この間、最も印象に残っているのは、私自身が授業を組み立てて授業を行う「授業実習」です。はじめは気が動転し、思い通りに進めることができませんでした。しかし、「授業実習」の本番である「研究授業」では、生徒とコミュニケーションをとりながら、自分のリズムで最後まで授業を行うことができました。授業を行うことはとてもエネルギーが必要で準備も大変であることが、身にしみて理解できた瞬間でした。こうした体験から、教師は生徒のことをつねに考え、学力だけでなく精神的な面の向上にも努めていかなければならない職業だと感じました。また、授業以外にも担当クラスのホームルームを受け持ち、部活動に参加するなど、生徒たちと交流しながら楽しく有意義な時間を

を過ごすことができました。

今回の教育実習で、教師という仕事の一部分を体験することができ、仕事とは責任をとまなうものであり、一人ひとりが自覚を持って行動しなければならないことも学べたと思います。この経験を生かし、自己のさらなる成長に努めたいと思います。

経済学部 4年 長屋智保さん 岐阜県立本巣松陽高等学校出身



幼稚園半日実習 [名古屋経済大学附属市邨幼稚園] 懐かしく感じた、母園での実習

私は、6月19日(水)に附属の市邨幼稚園で半日実習を行いました。実習前に配置図を描くため、何度か幼稚園を訪問しました。園全体や各教室の配置図を見ながら、子どもたちがどんな環境で生活しているのか把握したいと隅々まで見学しました。私の母園でもある市邨幼稚園は、私が通園していた頃よりも新しくなっていました、とても懐かしく感じました。また、先生方が私のことを覚えていてくださったことに驚きました。

今回は初めての実習だったので楽しみな反面、不安な気持ちもありました。子どもたちとはすぐに打ちつけることができましたが、失敗をして先生から注意を受けることもありました。実習生ではあっても、責任が伴うということを実感しました。

実習が終わった後は、振り返りをしました。今回学んだことを次回からの実習に生かせるようにしたいと思っています。

短期大学部 保育科 1年 山口千晶さん 愛知県立犬山南高等学校出身



幼稚園教諭 [新城市立新城子ども園] 自信をくれた「失敗してもいいんだよ」の言葉

私が実習を行った園では実習生の指導に力を入れており、実習3日目から毎日責任実習をさせていただきました。しかし、指導案を考えては何度も直し、それでも実際にやってみると上手くいかないことも多く、毎日頭を悩ませていました。そんな時、担当の先生から「失敗してもいいんだよ!失敗することでわかることがあるから、たくさん失敗してね!私もフォローするから先生がやりたいことをやっていいんだよ!」と言っていただき、自信を持って実習を行うことができました。また、自分が考えた保育内容を楽しんでくれた子どもたちが「先生楽しかった!またやろうね!」と言ってくれた時は、涙が出そうなくらい嬉しかったです。

2週間という短い期間でしたが、とても充実した実習ができ、幼稚園の先生になりたいと強く思うようになりました。今は就職活動中なので、幼稚園に就職できるように頑張りたいと思います。

短期大学部 保育科 2年 泉南巴さん 愛知県立新城高等学校出身



臨地実習

病院実習 [岐阜大学医学部附属病院] 実習で感じた、患者さんに対する使命感

今回の実習では、給食や臨床マネージメント、患者さんへの接し方など、さまざまなことを知り、学び、考えることができ、とても充実した2週間でした。

特に、実際に実習を体験して感じたのは、実習生とはいえ、患者さんに対して責任のある立場で接していかなければならないという強い使命感と、私たちの言葉や態度の一つひとつに患者さんが非常に関心を抱いてくださっているということでした。問診をさせていただいた際には、自信のない態度や不安な声はそのまま患者さんに伝わってしまうのだと肌で感じることができました。

また、勤務しておられる先生方のお話を聞き、いきいきと活躍しておられる

姿を見て、管理栄養士はやりがいのある職業だと改めて感じました。机上の学習では得ることのできない、貴重な体験をさせていただきました。

今後はこの経験を生かして、自分の力にしていきたいと思っています。

人間生活科学部 管理栄養学科 3年 坪内祥子さん 岐阜女子高等学校(岐阜県)出身



インターンシップ

扶桑町役場

社会人としてあるべき姿を学びました

私は10日間にわたって、扶桑町役場のインターンシップに参加しました。主に事務の仕事が多かったのですが、総務課、税務課、福祉児童課という3つの課で業務を体験させていただきました。事務の仕事では、書類のデータを入力し、書類に不備がないか確認を行いました。さらに、デスクワークだけでなく家屋調査や道路維持工事の検査などで外に出ることもあり、行政が行っている住民生活に密着したさまざまな業務について学ぶことができました。

短い期間でしたが、このインターンシップは私にとって大変貴重な経験になったと思います。仕事の面では詳細なことまで丁寧に教えていただき、働くことに対する意識を高めることにつながりました。また、社会人としてあるべき姿について多くのことを考え、学ぶ絶好の機会となりました。実際に勤務していらっしゃる皆さんの生の声を聞き、いきいきと活躍していらっしゃる姿を拝見することができ、本当によかったと思っています。

法学部 3年 堀部愛美亜さん
岐阜県立岐阜各務野高等学校出身



名神

インターンシップの経験を就職活動に生かしたい

私は、スーツや礼服を販売する名神小牧店でインターンシップ実習を体験させていただきました。主に「店舗の清掃」「商品の陳列や手入れ」「ディスプレイの模様替え」といった業務を行い、商品知識や接客についても学ばせていただきました。

社員の皆さんは、来店するお客様一人ひとりに対して大変気を配っておられました。一番心に残っているのは接客教育の時、社員の方から「お客様に納得して商品を買っていただくためには、こちらが十分に商品の説明ができなくてはなりません。また、お客様の希望に合う商品がなかったとしても「ありません」「できません」は禁句。代替案を出して、問題を解決するのが接客の基本です」と、アドバイスしていただいた事です。

こうした今回のインターンシップで得た貴重な経験を、これからの就職活動、また、将来のために、ぜひ生かしていきたいと思っています。

法学部 3年 江尻新さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



小牧商工会議所

商工会議所の会議に参加させていただきました

私が小牧商工会議所をインターンシップに選んだ理由は、小学生の時に商工会議所に決算検定の手続きに行く機会があったからです。その時、皆さんから優しく丁寧な対応をしていただけたことを覚えていたので、商工会議所では他にどんな仕事を行っているのか興味を持ちました。

初日、皆さんの前で挨拶をした時は緊張しましたが、多くの部署の方々と接する機会があり、商工会議所の役割や地域社会との関わりの大切さを知ることができました。また、実際に女性会や役員会などの会議に参加させていただき、会議はさまざまな意見を述べ、その場で問題点を改善するための提案をする場であることを実感しました。2週間という短い期間でしたが、言葉づかいやマナーはもちろん、つねに相手の方と笑顔で接すること、仕事に対する責任感の大切さ、企画提案の難しさなどを学びました。ここで学んだことを生かして、今後も自分を高めていきたいと思っています。

経営学科 3年 伊里直也さん



名古屋大学医学部附属病院

将来やりたい仕事が明確になりました

9月9日(月)~24日(火)まで、名古屋大学医学部附属病院でインターンシップをさせていただきました。名大病院の業務は細分化されており、クラークデスク、入退院受付、外来受付、文書受付、収納窓口、総合案内があり、それぞれの場所で実習させていただきました。担当の方から「受付は患者さんが何を希望しているかを会話の中から瞬時に見抜き、対応することが大切」と教えていただきました。総合案内では、時間が経つにつれて落ち着いて患者さんの話を聞けるようになり、場所案内などが的確にできるようになりました。事務では、診療報酬掛、医事掛、患者サービス掛、地域連携掛で実習させていただき、レセプトやカルテ、紹介状などを実際に見ることができました。初めて目にする病名や薬名が多く、自分はまだまだ医療知識が足りないことを痛感しました。今回の実習を通して将来やりたいことが明確になったので、残りの学生生活でその仕事に就くために必要な資格をぜひ取得したいと思っています。

短期大学部 キャリアデザイン学科 1年 米津桃子さん
愛知県立大学瑞穂高等学校(愛知県)出身



ホテルアソシア豊橋

“温かいNO”と“冷たいNO”

8月9日(金)~18日(日)まで、ホテルアソシア豊橋で実習をさせていただきました。管理部門、宿泊部門、飲料・宴会部門がある中、私は宿泊部門で、ホテルで働くために必要な座学、案内、デリバリーサービスなど、さまざまなことを体験させていただきました。一番印象に残ったのは、“NOの言い方”です。NOには“温かいNO”と“冷たいNO”があることを知りました。半年先まで予約がいっぱいのレストランで、お客様をお断りするのに「すみません。どうしても無理です」と答えれば“冷たいNO”。「以前、シェフが働いていたレストランがこの近くにあり、私も先日伺ったのですがこのレストランと変わらないうらいのおいしさでした。もしよろしければ、そちらにお電話して予約が取れるか伺ってみましょうか?」と加えると“温かいNO”になります。

毎日が勉強で大変な仕事ですが、ホテル勤務の夢がかなうように頑張りたいと思います。

短期大学部 キャリアデザイン学科 1年 伊藤朋子さん
安城学園高等学校(愛知県)出身



豊川信用金庫

言葉づかいと練習の大切さを学んだ10日間

私は、豊川信用金庫で10日間職場体験をさせていただきました。金融機関での体験を通して感じたことは、2つあります。1つ目は、丁寧語や敬語の使い方です。私は接客業で4年間アルバイトをし、一通りの言葉づかいはできていると思っていましたが、実際に職場に出てみると「お客様、もう少々お待ちください」と言わなければならないところを「お客様、ちょっとお待ちください」と言ってしまいました。後者の間違った使い方では、お客様に不快な思いをさせてしまうかもしれません。私はもっと日本語の勉強をしていきたいと思いました。2つ目は、練習の大切さです。初めてお札を数えた時、数えるスピードも遅く、数え方もまるで違っていました。しかし、休憩中に繰り返し練習をすることで、最終日には職員の方に褒められるほど上達しました。こうした、言葉づかいと繰り返しのトレーニングで学んだことを、これからの就職活動に生かしていきたいと思っています。

短期大学部 キャリアデザイン学科 1年 山口真哉さん
愛知県立豊川工業高等学校出身



学内インターンシップ

「学内インターンシップ」で大きく成長

短期大学部キャリアデザイン学科では、夏季休暇直前の8月5日(月)~7日(水)の3日間にわたって、「学内インターンシップ」を実施しました。本学科では、平成22年度より学生の就業力の育成に取り組んでおり、「学内インターンシップ」はその取り組みにおける大きな柱の1つ。今年が3回目の実施となります。今回は、担当者間でこれまでの研修の問題点を洗い出しながら議論を重ね、「Plan」「Do」「Check」「Action」というマネジメント・サイクルの必要性を自ら経験できる研修内容とし、学生の皆さんに挑戦してもらいました。研修を通して一人ひとりがチームで働くことの意味や自身の強みに気づき、大きく成長してくれました。学科の教員が総出で取り組む「学内インターンシップ」は、今や学科の夏の風物詩となっています。

(短期大学部
キャリアデザイン学科教授
代田義勝)



グループワークの様子

私は営業を担当しました。初めの頃は積極的になれず、思うように行動できませんでしたが、グループの協力もあり無事に商談を進めることができました。そのおかげで、残りの時間を有効に利用することができ、利益を出すことに貢献できました。学内インターンシップの3日間はあっという間でしたが、協力することの大切さや会社の流れを学ぶことができ、とてもいい経験になりました。

短期大学部 キャリアデザイン学科 1年 山田千晶さん
愛知県立名古屋西高等学校出身

学内インターンシップで学んだことは2つ。1つ目は、1人ではできないこともグループ全員でなら問題を解決できるということ。1人の力は小さくても、協力し合えば大きな力になることを実感できました。2つ目は、新しい自分を発見できたこと。会社では役割が5つあり、私は社長として先頭に立ってみんなをまとめることができるか不安でしたが、積極的に声をかけリーダーシップをとるうちに、社長役が向いていることがわかりました。全員の前でプレゼンをするという難しさも楽しく感じました。この経験を就職活動の自己PRに生かしたいと思っています。

短期大学部 キャリアデザイン学科 1年 森弓夏さん
岐阜県立岐阜総合学園高等学校出身



- 1 プラスバンド部のステージ
- 2 どんなおもちゃができるかな?
- 3 ベーコン旨いよ! ヘイラッシャイ
- 4 ハロウィンシアター
- 5 ウォーリーがいっぱい
- 6 名物でらだぜみのトン汁
- 7 教員バンド、ジャズで観客を魅了
- 8 犬山観光学生大使とわん丸君が登場!
- 9 駄菓子屋、今日も大繁盛
- 10 最後の真剣勝負
- 11 衣装大賞「くまもん」で決まり!
- 12 お団子いかが?

さわやかな秋空に、お祭り気分も最高潮

10月12日(土)・13日(日)の両日、さわやかな秋空のもと犬山キャンパスは大勢の来場者でにぎわいました。ステージでは、いちむら幼稚園児の「ロックソーラン節&竹太鼓」を皮切りに、ジャンボジェンガ大会など来場者参加イベントも多数用意され、3号館では保育科が「きっずぱれつ」を企画。ハロウィンシアター、ダンボールパークに、子どもたちの人気が集まっていました。

また、中庭を囲むようにさまざまな模擬店が勢揃い。ワッフル、からあげ、豚汁、駄菓子屋などが、「模擬店コンテスト」上位入賞をめざしました。最後は、会場を笑いの渦に包み込む「芸人オンステージ」で初日の幕を閉じました。

2日目は、プラスバンド部の演奏にはじまり、昼下がりの図書館では教員がバンド演奏を披露しました。ラストは、観客で一杯の「ピンゴ大会」。ステージには豪華景品が並べられ、何枚ものカードを手にあちこちで歓声が上がりが大いに盛り上がりました。一番人気のTVを手に入れた来場者や大きなぬいぐるみをゲットした小さな来場者も笑顔で記念撮影に応じてくれました。



名経祭実行委員 全員集合

VOICE 「きせご屋」で東北を応援

「東北を元気にしたい! 応援したい!」そんな思いを込めて、東北の方言で元気を意味する「きせご」を店の名前とし、東北の物産品のお店を出店しました。出店前には、東北産直プラザみちのく屋さんをはじめ、たくさんの方々へ支援していただきました。また、「共生社会の探求」のボランティア先である農家から購入したサトイモを使って東北鍋を作り、皆さんに味わっていただきました。

人間生活科学部 教育保育学科 1年 川瀬敦也さん(左)
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身
経済学部 3年 久川悠太さん(右)
名古屋工業高等学校(愛知県)出身



東北の物産品を手に

VOICE 童心にかえり、子どもと追っかけっこ

大学生最後の大学祭を盛り上げようと、かくれんぼと追っかけっこをミックスした探偵ゲーム「ウォーリーをさがせ」を企画。お揃いのボーダーシャツを着て帽子をかぶり、準備OK。私たちが鬼になり、子どもたちにケガをさせないように気を配りながら、キャンパスの中を逃げ回りました。すぐに見つかったり、なかなか見つけてもらえずにやきもきしたり…。

いつの間にか童心にかえって楽しんでいるのは、私たちが方だったかもしれません。

人間生活科学部 教育保育学科 4年 嘉手納良照さん(右)
沖縄県立首里東高等学校出身



輪投げに挑戦

わいわい犬山フェスティバル

今年は、名経祭と犬山市産業振興祭「わいわい犬山フェスティバル」を同時開催。総合グラウンドを会場に野球&サッカーのストラックアウト、スピードガンコンテストが行なわれ、シャトルバスの運行により大勢の来場者で盛り上がりました。

13日(日)には「自転車散歩inいぬやま」に参加された皆さんにもお立ち寄りいただき、「犬山市に根ざし、市民に開かれた大学をめざす」という、本学の地域交流の輪は着実に広がりをみせています。



犬山オープンカレッジ「韓国の食品輸出への取組みと課題」

今回の講義のテーマは「韓国の食品輸出」でした。韓国が輸出しているものというところ、SAMSUNG、LGなどのスマートフォンを考える人が多いかもしれませんが、韓国産の食品は生鮮食品・加工食品ともに日本へも輸出されています。もちろん、日本から韓国へと輸出されている食品もあります。この状態では取引相手ですが、ロシアなどの第三国では同じ市場で競争相手になっています。いろいろある両国の関係ですが、経済面では活発な交流が行われています。講義の後は、内容に対する質問もいただき、新たな視点に気づかされるなど勉強になりました。お忙しい中、お越しいただいた皆様、本当にありがとうございました。(経済学部講師 田村善弘)



メモをとり、熱心に講演を聴く参加者

2013 キャリア祭

「エコ」をテーマに盛り上がる

今年の大学祭は、「エコは地球を救う」というテーマで開催しました。学科全体で、エコを意識したイベントを行うのは大変でしたが、ペットボトルのキャップでモザイクアートを作り、それをエコの象徴としました。また、キャンパス内でのイベントとしては、1・2年の各ゼミから模擬店を出店していただき、展示も行ったので、さまざまなゼミの特徴を生かした表現ができたと思います。

そして、メイン行事である10階ホールでのイベントは、学生がドレスを自作して企画・運営するファッションショーや模擬店コンテスト、豪華景品が多数当たるビンゴ大会を実施しました。今回2学年そろって最後の大学祭となりましたが、最後ならではの頑張りをあらゆる面で感じていただけたと思います。

皆さん、ご協力ありがとうございました。

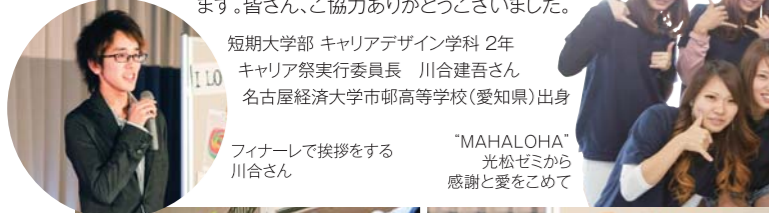
短期大学部 キャリアデザイン学科 2年
キャリア祭実行委員長 川合建吾さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

フィナーレで挨拶する
川合さん

“MAHALOHA”
光松ゼミから
感謝と愛をこめて



ステージを彩る
「ファッションショー」



「お菓子天国」ジャンケンで駄菓子屋さん バナナパフェ&ジュース「MoGi Choice」でPR



つぼイノリオさんの軽妙な
トークショー!

2013 秋のオープンキャンパス

研究室訪問・特別授業を企画

今年度は、9・10・11月に「秋のオープンキャンパス」を開催。経済・経営・法学部で開講されている体験型プロジェクトや共生社会の探求といった新しいカリキュラムを紹介し、「新しい名経」をPRしました。

10月のオープンキャンパスは、名経祭と同時開催! オープンキャンパスを訪れた高校生の期待に応えようと、「特別授業一部活応援宣言!」と題して栄養と

メンタルの両面からアスリートをサポートする方法を解説しました。

新たなプログラムとして研究室訪問も用意され、入試相談コーナーでは教員と職員が高校生一人ひとりに対し、懇切丁寧な相談を行いました。



笑顔でMCを務める清水さん



特別授業一部活応援宣言!



入試相談



保育科「つくってあそぼう!」



経済・経営・法学 3学部の新カリキュラムを解説

本学学生が犬山観光学生大使に

犬山観光学生大使に任命され、大好きな犬山をPR

犬山には「国宝犬山城」や「明治村」「リトルワールド」「木曾川うかい」などの観光スポットがあり、犬山に通い始めて3年目の私も次々と犬山の新しい魅力を発見しています。

8月は「日本ライン夏まつり納涼花火大会」に参加させていただきましたが、犬山を訪れた方々と交流する機会があり、皆さんに自分の感じた犬山の魅力をお話することができたと思います。また、各地で犬山市の公式キャラクターのわん丸君を紹介するなど、犬山観光学生大使の仕事は大学生活だけではなく経験できないことばかりで、自分の将来にも必ず役立つと思いますので、精一杯頑張りたいと思います。そして、1年間という短い時間ですが、大好きな犬山の魅力を今後もたくさんの方々に伝えていきたいです。

人間生活科学部 教育保育学科 3年 額綱果菜さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



左から額綱果菜さん、長谷川愛佳さん(キャリアデザイン学科)、犬山観光協会会長 浦崎真由美さん(キャリアデザイン学科)、青木杏薫さん(法学部)



わん丸君と「第2回ご当地キャラ記念」JRA中京競馬場に登場 Copyright (C) 犬山観光協会

犬山観光協会と名経が連携!
平成26年度「犬山観光学生大使」大募集!
(満18歳以上の名経現役女子学生)

犬山市内外のイベントやお祭りに参加して、犬山の魅力を伝えていきませんか?
応募先: 犬山市観光協会
〒484-8501 犬山市大字犬山東畑36 TEL 0568-61-2825

石上祭

尾張富士の頂上で感じた達成感

「石上祭」には、私を含む学生12名と職員1名の計13名が参加しました。この祭りには、標高293メートルの尾張富士の上にある大宮浅間神社に石を奉納した者は願いが叶うという言い伝えがあり、参加者はそれぞれ願いを書いた布を自分の石に結び付け、山の頂上まで登りました。私たちが当日奉納した石は重さ約40キロで、石を吊るした櫓の重さを合わせると約60キロでした。しかし、実際に担いで登り始めると、担ぎ手が8人いるのにもかかわらずそれ以上の重みを感じました。その理由は、道幅の狭さや剥き出しの山肌、急斜面、周りの人との歩幅の違い、気温の高さなどでしたが、みんなで力を合わせ無我夢中で足を進めました。

3時間かけて頂上に着いた時には、強い達成感がありました。また、奉納された多くの石やテレビ局が取材に来ているのを見て、伝統のあるお祭りだと改めて実感しました。皆さんもぜひ来年は、犬山の石上祭りに参加してみませんか?
経営学部 2年 西野厚仁さん 名古屋市立名古屋商業高等学校出身



祭事を終え尾張富士の山頂で全員集合



無事到着!

力をあわせ一歩、一歩

楽田地区文化祭

本学クラブ・サークルも参加

9月14日(土)、15日(日)に開催された「楽田地区文化祭」に本学から漫画研究部、写真倶楽部、ボランティアサークルが参加しました。また、授業の一環として「共生社会の探究」で行われた活動の様子などを展示しました。



名経の学生による展示コーナー

VOICE 楽田小学校でイラストを展示

漫画研究部は、地域向けの学校行事に初めて参加させていただきました。小学校での行事ということで何を展示しようか迷ったのですが、最終的に漫画研究部らしくシンプルにイラストを描いて展示しようということになりました。イラストは合計で9枚展示しましたが、数枚あった淡いイラストが周りの展示物とくらべて目立たないように思えました。来年参加する機会があれば、この反省点を生かして、今回よりも良い物を展示できるようにしたいと思います。

経営学部 2年 漫画研究部 日下部宏明さん 三重県立桑名北高等学校出身

消費者問題研究所

「第33回公開講演会」が開催されました

7月6日(土)、本学名駅サテライトキャンパス10階ホールにて、本学の消費者問題研究所主催による「第33回公開講演会」が開催されました。今回は、「消費者のための仕組み—きのう、きょう、あす—」をテーマに、講師(パネリスト)として、及川昭伍氏(国民生活センター元理事長)、川口康裕氏(消費者庁審議官)、柴田明氏(愛知県県民生活課長)、東珠実氏(椋山女学園大学教授)をお招きし、消費者問題研究所の田口義明所長(経済学部教授)がコーディネーターを務めました。

参加者であふれる会場では佐々木学長の挨拶に続き、4人の講師から、消費者問題と消費者政策の半世紀、国・地方の消費者政策の今日的課題、消費者教育の新たな展開などに関し、長期的な視点から、あるいは現実の政策に直に取り組んでいる立場から、現場感覚あふれる報告がありました。報告に引き続き、活発な質疑応答が行われ、講演会は盛況のうちに終了しました。



報告が終わり拍手をおくる講演参加者



及川昭伍氏 川口康裕氏 柴田明氏 東珠実氏

学術研究センター 比較文化研究会 市民開放講座

2796年以上続いたレスリングがオリンピックから消えるのですか?

人類最古のレスリング競技の描写は、ホメロス作『イリアス』の中にあります。第23巻で、アキレスが戦死した忠臣バトロクロスのために追悼競技を主催しました。そして8種目が行われ、レスリングは3番目に知将オデュッセウスと剛力アイアスとで闘われました。勝負がつかず、アキレスの裁定により引き分けになりました。『オデュッセイア』にも、アルキノオス王によるオデュッセウスの歓迎行事として5種目の競技が開催され、その2番目にレスリングが行われています。ローマのウェルギリウスも『アエネイス』の中で、アエネアスが亡父アンキセスの命日奉納として5種目の競技を開催しました。ただし、レスリングはその中には含まれていません。しかし、彼が冥界訪問をしたとき、ローマ神話の極楽浄土「エリュシウム」で体を鍛える靈魂たちがいました。原文を解読すると、その運動がレスリングでした。レスリングは古代ギリシア・ローマ時代から、最も重要な運動種目だったのです。世間では、2020年の東京オリ

ピックでレスリングが消えなかったことを喜んでいます。しかしこの講義では、レスリングが消えなくなるとか消えないかを問題にしたこと自体が問題である、ということを実証いたしました。

(比較文化研究会 経済学部教授 宮川昇)

情熱的な
宮川教授の語り



講義に引き込まれる受講生

学生向け特別講演会 小出宣昭氏を迎えて

「若者に期待すること」

10月9日(水)、中日新聞社社長・小出宣昭氏をお招きして「若者に期待すること」と題し、1年生を対象にした特別講演会が開かれました。昨年から続く小出氏の登壇は3度目を数え、今回は自身のロンドン駐在員時代の体験をもとに、約1時間を超える講演となりました。

心を豊かにするには、大胆に行動してリスクを恐れずチャレンジすること。「Travel」と「Tour」の違いにふれ、「何も計画せず、本を読みながら風景を楽しむ自由な時間と、さまざまな出会いを期待して旅に出よう」と学生に語りかけられました。

また、人生で大切なこととして、「世の中に存在するさまざまな物差しを知り、身につけることで、人間として当然持つべき

判断力に磨きをかける」。そして「愛や情熱、季節、生命など目に見えないものを大事にして欲しい」と、特別講演を締めくくられました。



熱くメッセージを伝える小出社長

満席の講義室

Relay Essay 022 リレーエッセイ

多様な家族関係の保護 — 婚外子の差別違憲判断に思う —

法学部教授 近藤久雄

船井先生からバトンを受けました。先生とは本学の教職員スポーツ同好会を通してテニスやスキーを教えていただき、30年以上のお付き合いになります。先生が専門にかかわるお話をされていますので、私も自身の守備範囲のお話をさせていただこうと思います。

先頃、最高裁大法廷で婚外子の相続分を婚内子の2分の1とする民法の規定を違憲とする判断が出ました。この規定は、法律婚の尊重にあると説明されてきました。「届出をしないと子が不利益を受けますよ、届出をしてください」と。ただ、届出をしているかどうかは親の問題であり、その責任が子に転化される事の妥当性から、学会においては早くから規定の違憲性が指摘されていました。

宗教上の理由から婚外子の保護にかなり厳しい態度を取ってきた欧米においても、事実婚の増加もあって平等化が進み、主要先進国で差別が残るのは日本だけでした。国連からも過去に何度も是正の勧告を受けています。

さて、問題はこのような状況の中で、民法の規定が改正されず、裁判所の違憲判断によってこの問題を解決しなければならなかったことです。法律の改廃は立法府の仕事です。なぜ、立法府は改正を怠ってきたのでしょうか。問題の本質は、伝統的な家族観に対して、多様な家族関係を尊重し子の権利

(個人の尊厳)を守ることの是非です。背景には改正により法律婚主義を危うくしかねず、家族制度の崩壊につながるという慎重論が根強くあったことです。この点は、現在も変わりません。母子・父子家庭も家族ではないでしょうか。

夫婦別氏選択制の導入、生殖補助医療による子・非婚カップル(パートナーシップ、同性婚)の保護も一向に進んでいません。立法府へどのような代表者を送るかは、主権者である我々の責任でもあります。この点を考え

てみるほうが問題解決の早道かも知れません。



Profile

こんどうひさお
図書館長、名古屋家庭裁判所家事調停委員、専門は民法。
主な著作に「近時の法人法の改正と課題—一般社団法人・財団法人法を中心として—」(2010年)、「特別養子縁組における自己の出自を知る権利—情報へのアクセスと秘密の保持」(2007年)、「生殖補助医療の事実婚カップルへの適用について」(2004年)などがある。

今回は、経済学部 木村隆夫教授です

おもしろ授業

ハンドクラフトフェアに参加

経営学部教授 谷川毅

現在、ゼミで手づくりに取り組んでいます。今年度前期は、6月に吹上ホールで開催されるハンドクラフトフェアの子ども向け体験コーナー・ホビッチランドを手伝うことを目標に、ゆびあみ・くさりあみマスコット・ミサンガなどの作り方を覚えました。

また、自分たちのやっていることにどんな歴史があり、それがどんな未来につながっているのかを知ってもらおうと、組紐・組物学会会長の多田牧子先生に来ていただき、レクチャーを受けたあと、「クテ打」と呼ばれる道具を使わない古来の組み方を教えていただきました。

ハンドクラフトフェアは、手芸服飾関連の関係者、販売店の方々が一同に集まる、年に



多田先生の手の動きに釘付け



組紐「クテ打」に挑戦



ハンドクラフトフェアの「ホビッチランド」ブースは子どもたちでいっぱい

国際会議報告



7月1日(月)~4日(木)、ベルギーのリージュ大学で開催された4th EMES International Research Conference on Social Enterpriseに参加し、日韓の社会的企業に関する報告を行いました。「社会的企業」とは、事業を通じて社会問題の改善を図ることを目的とする組織で、NPOや協同組合などが含まれます。EMESは、EUにおける社会的企業研究の中核ネットワークで、国際会議や国際研究を行っています。今回の国際会議では、40カ国から295の報告が行われました。社会的企業のモデルにはじまりそのファイナンスやガバナンスまで幅広いテーマで白熱した議論が交わされ、国際比較研究プロ

ジェクトが立ち上がり、現在私もメンバーとして研究を進めています。国際的な議論にふれ、海外の研究者とフランクに語り、交流を深める貴重な機会となりました。(経済学部講師 水野有香)



北欧の研究者と 国際会議の様子

市邨高校「総合学習」で大学講義体験

7月11日(木)、名古屋経済大学市邨高等学校の1年生が総合学習(上級学校体験)の一環として行われる「大学見学と講義体験」のため、犬山キャンパスを訪れました。

本館玄関前では、市邨高校を卒業した先輩9名が出迎え、生徒たちは笑顔で応えて「大学見学と講義体験」がはじまりました。

1号館の大講義室には、総勢324名の生徒が大集合。最初に佐々木学長から歓迎の挨拶があり、「変わりつづける名古屋経済大学の今」について話を聞きました。最後に「入学式でお会いできると、幸せです」と話を締めくくる学長に、大きな拍手が送られました。その後、卒業生がガイドとなり4つのグループに分かれて図書館や学習支援室、情報センターなどの施設を見学。コミュニティプラザでは、この日のために用意されたスペシャルランチを味わいました。生徒からは「オイシイ」と、笑顔と歓声がおこっていました。午後からは16の講義テーマが用意され、それぞれの教室に分かれて大学の講義を体験。熱心にメモをとる生徒、ユーモアあふれる講義に笑いがおこる場面など、それぞれ特色ある講義が展開され、あっという間の60分間でした。

講義を終えた生徒たちは、森の小道を通って総合グラウンドや武道場など広大なキャンパスを眺めながら体育館へ移動。先輩や教職員の見送りを受け、大学を後にしました。暑い日ではありましたが、未来の自分を想像し、進路意識を持つきっかけとなる行事となりました。



満席の講義室で学長の挨拶



短大保育科「KID'S ENGLISH」体験

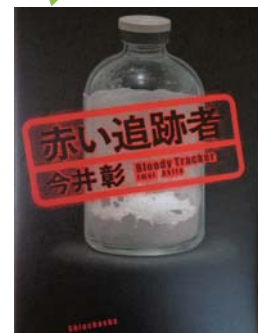


法学部学習支援室を見学



『赤い追跡者』

新潮社 2013年6月21日発売 客員教授 今井彰 著



取材の悪魔が巨悪を撃つ迫真の報道サスペンス
元NHK看板プロデューサーが描く 一気読み必至の社会派エンタメ!

1993年秋、全日本テレビの「薬害エイズ問題」取材班に、恐れを知らぬ戦場ルポで鳴らす男が投入された。強奪、脅迫、色仕掛け…。取材の為なら手段を選ばぬディレクターの西悟は、罪なきエイズ患者の無念を晴らすため、厚生官僚・医学部教授・製薬会社がひた隠す秘密を暴いてゆく…。

●田原総一朗氏 推薦
どれだけ相手を騙せるか—それが取材だ。そのコンプライアンス破りの手口を、推理小説より面白く書き上げた技量に感嘆する。



Profile
いまいあきら
1956年大分県生まれ。本学客員教授。作家。1980年、元NHKエグゼクティブ・プロデューサー。「タイス少佐の証言」で文化庁芸術作品賞受賞、「埋もれたエイズ報告」では日本ジャーナリスト会議本賞を受賞。2000年放送開始の「プロジェクトX」は社会現象となり、菊池寛賞、橋田賞を受賞。2009年にNHKを退局しフリーに。2010年2月巨大放送を舞台にした小説「ガラスの巨塔」(幻冬舎)、11月には「ゆれるあなたに贈る言葉」(小学館)を出版。2013年9月に石川県の輪島観光大使に就任。

～市邨校～

校舎の改修工事が進行中!

市邨校の校舎改修は、昨年度より本格的に始まり、年次計画で進行中です。昨年度は中学校舎(5号館)が全面改修されましたが、今年度は高校校舎の3号館(東館)と4号館女子トイレの改修工事が実施されました。教室や廊下など、ほぼ全面的にリニューアルされた校舎は全体的に明るい雰囲気となり、快適性が格段にアップ!! 女子トイレは和式から洋式便器に変更されたのに加え、なんと便座暖房やウォシュレット機能までつきました! さらにフロアは清潔度の高い乾式床になり、手洗いには自動水栓も設けられました。

今後も順次改修が進められていく予定です。古き良き伝統はきちんと残し

つつも、新しい快適性も取り入れ、生徒がより学校活動に集中できる環境をつくっていききたいと思います。



教室も明るくピカピカに 廊下のフロアもリフレッシュ

市邨生、今夏もインターハイ出場で活躍!

今年度の全国高校総体(インターハイ)に、名経大市邨高校から4クラブが出場を果たしました。皆さまのご声援を受け、選手たちはカー杯活躍し、名経大市邨の名前を全国に轟かせることができました。ご声援、ありがとうございました。

●インターハイ出場クラブと主な成績

体操部	男子	団体総合 15位
	女子	団体総合 準優勝 個人総合 優勝 寺本 明日香 (跳馬2位・段違い平行棒1位・平均台1位・床2位)
バドミントン部	男子	団体・個人ダブルス出場 個人シングルス ベスト32
テニス部	男子	団体・個人シングルス ベスト16 個人ダブルス出場
剣道部	女子	個人戦出場

市邨校のキャンパスがロケ地に

テレビ愛知開局30周年記念特別番組として、愛知県が世界に誇る女子フィギュアスケートをモチーフとした2時間ドラマ「スケート靴の約束」が、今年12月下旬にテレビ東京系列全国ネットで放送される予定ですが、そのロケ地の一つとして名経大市邨高校のキャンパスが使われました。

このドラマは、フィギュアスケートのトップスケーターを数多く輩出している名古屋を舞台に、天才少女スケーターとその家族を取り巻く本格ドラマです。ロケは、教室や校長室、脱履所付近で行われました。出演者の安田成美さん(母さとみ役)、小芝風花さん(長女葉子役)、金田明夫さん(長女の高校教頭役)らの他、エキストラの方々や多くの撮影スタッフの方々も来校され、さまざまなシーンを撮影されていました。放送では市邨校でのシーンがどこで登場するのかを探しながらご覧いただければと思います。



「ドラマ撮影」準備中の1コマ

～高蔵校～

「地域に根ざした部活動」—理科部

理科部は、文化部の中でも目立つことなく、毎週実験や生物観察など、科学的な現象を探るべく地道に活動を行っています。

昨年から、山崎川街路樹保存会の要請により、山崎川周辺道路の清掃ボランティアを毎月第1日曜日の朝7時から行っています。ゴミ拾いや草むしりを続ける中、地域の方々に声をかけていただき、多くの人々と出会い、親切心も知ることができました。

今年は、山崎川グリーンマップの代表である大矢さんと知り合いになり、3月からは都会の中を流れる山崎川の保全活動にも参加するようになりました。そして山崎川の生物調査に参加し、小学生に山崎川に棲む生物を教えたりしました。また、これらの活動をまとめ上げ、日本カメ会議にて発表も行いました。

今後は、山崎川の生物多様性を守るための活動をしなが、さまざまな池や川における生物の調査を行っていききたいと思います。

(理科部顧問 内田裕史教諭)

※日本カメ会議とは、カメの自然誌に興味のある研究者や愛好家が集まる日本カメ自然誌研究会主催のイベント。カメの現状や調査・観察の成果を報告する交流の場として毎年開催されています。



ウェーダーをはき「生物調査」開始



川底から巨大なカメを発見!



川につかり熱心に調査を続ける生徒たち 清掃ボランティア活動に汗を流す